

## コロナ対策 マンション

### 中央住宅

大都市圏で感染が懸念されるコロナウイルス。接触感染なのか、飛沫感染なのか、それとも空気感染なのか、目に見えないだけに不安が尽きな



### ノンタッチの「ただいま動線」 自動ドアから何も触らずに帰宅可能

い中、新築マンションでは、非接触の設備コーディネートに注目が集まっている。

- ポラスグループ(株)中央住宅(本社・埼玉県越谷市)が、5月末より発売されたルピアコート津田沼(2022年5月中旬竣工、6月引渡予定)では、エレベータースイッチ、宅配ボックス、ドア、キッチン、手洗いまで全て非接触で利用できる設備でのコーディネートを用意している。自動ドアから何も触ることなく帰宅できることに特長がある。同社では、こうしたノンタッチにこだわった動線を「ただいま動線」と呼んでおり、主な特色は次の通り。
- ① 非接触キーシステムを採用したエントランス
  - ② 手洗いは大人サイズ、子供サイズの2種類を用意し、手洗い後に除菌水も出る
  - ③ ハンズフリーキー対応の宅配ロッカー
  - ④ ボタンを押さずに手をかざすだけで行先階などの選択

- ができるエレベーター
- ⑤ タッチレス水栓の洗面所やキッチン
  - ⑥ ゴミ置き場にノンタッチの自動ドア設置

同社はSOMO(スーモ)の「首都圏マンション供給ランキング2020」で10位にランクインされている事業者。コロナ禍の今求められているのは、何よりも「お客さんの安心」であり、非接触型のトレンドは訴求効果が高く、今後も標準仕様になっていくことが予想される。

第1期販売(20戸)の販売価格は3998万円(5228万円(専有面積68.02㎡)・71.75㎡)。津田沼駅から徒歩12分。同じ徒歩圏内のマンション(徒歩7分、5500万円)よりも1000万円以上の価格差がついているものもある。20代〜30代後半の共働き世帯、世帯年収1000万円前後の世帯からの問合せが多く、アンケートでは「大変気に入った」



「变身クローク」



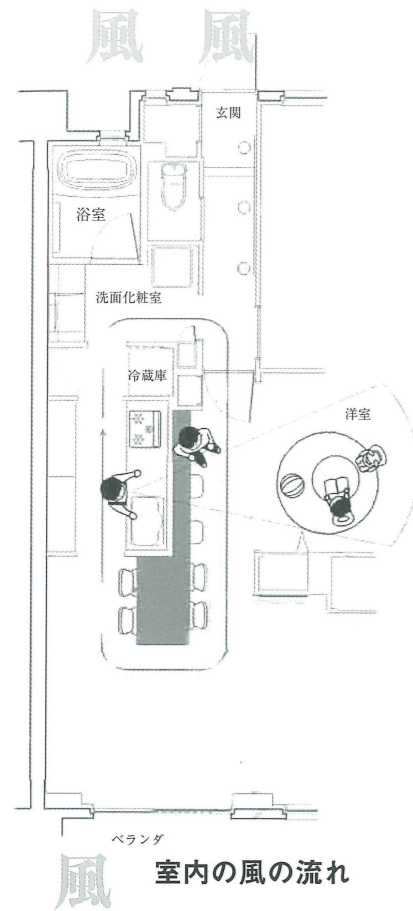
「ピアキッチン」

という回答が90%以上となっている。

また、コロナ禍のテレワーク向け空間としてクローク内にカウンターテーブルが設置されている「变身クローク」(実用新案取得済み)。玄関扉

には、扉を閉めたままでも換気ができる玄関ドアを採用し、ベランダから入った風が室内を通って廊下側の浴室窓と玄関から抜けるように計画されている(左図参照)。

販売提携をしている東京中



室内の風の流れ